

⇩ 平成29年分民間給与実態統計調査結果

Q : 平成29年の民間給与実態統計調査結果が公表されたとか。どんな内容だったのですか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

先ごろ、国税庁から「平成29年分民間給与実態調査結果について」が公表されました。

主な内容は、次のとおりです。

① 給与所得者数

平成29年12月31日現在の民間の事業所の源泉徴収義務者数は353万件で、前年より1.6万件の(0.5%)増加でした。給与所得者数は5,811万人で、前年より67万人(1.2%)の増加でした。

② 給与総額及び税額

民間の事業所が支払った給与の総額は215兆7,153億円で、前年から7兆8,498億円(3.8%)増加しています。源泉徴収された所得税額(復興特別所得税を含む)は10兆390億円で、前年より6,161億円(6.5%)増加しており、給与総額に占める税額の割合は4.65%となっています。

③ 平均給与

1年を通じて勤務した給与所得者の年間の平均給与は432万円で、前年に比べて2.5%の増加です。男女別にみると、男性532万円、女性287万円で、前年に比べて、男性は2.0%の増加、女性は2.6%の増加となっています。また、正規・非正規では、正規494万円、非正規175万円で、前年に比べ、正規は1.4%の増加、非正規は1.7%の増加となっています。

